



## 年頭にあたって！ 会長 竹下幹夫

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます

去年は、念願の東屋の完成や島根県の「自然公園の魅力アップ事業」など新たな取り組みを進めながら、田和山の成長に合わせた作業を行ってきました。おかげさまで、以前にも増して里山らしくなってきました。キンランの成立株数も230を超えほぼ全山に成育域を拡げて、キンランといえば田和山という状況を作り出してきました。そのような中で本年は、里山を育てる会が結成されてから20年となりますので、年内のいい時期に盛大に20周年記念事業を行い、盛大なお祝いをしたいと考えておりますので、事業の持ち方についてのアイデアをお寄せください。ご提案をお待ちしております。この事業をきっかけに、田和山の森の諸課題に取り組む体制の整備を進めていきたいと考えております。具体的な活動については、引き続き急がず、ゆったりとした気持ちで取り組んでいきたいと思っております。

新しい年が、皆様にとって素晴らしい年となることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

### ..... 仕事納め .....

年末の18日、門松用の竹を切り運び出しました。公民館や幼稚園などの門松造りを頼まれた会員の小谷さん等の依頼で準備したものです。この日は 田和山の仕事納めでしたが、雪が降り風も強く大変な荒れ模様でした。この日参加した7人は、今年最後の仕事として竹を切り倒し、運び出しました。立派な門松ができ、それぞれの施設に飾られたことでしょう。



### 田和山の樹木第26回 マンリョウ、センリョウ (正月の縁起物)



マンリョウ



センリョウ

年末になり、正月の準備をする時期になりましたが、縁起物として使われる「〇〇両シリーズ」は、マンリョウ(万両)、センリョウ(千両)、カラタチバナ(百両)、ヤブコウジ(十両)、アリドオシ(一两)ですが、田和山で全て確認できるでしょうか。何れも樹高は高く1メートル未満で、赤い実をつけるという共通点があります。

過日、田和山を巡り捜してみました。すぐに見つけられたのはマンリョウで、あちこちに赤く熟れた実をつけた株を確認できました。つぎに、観察路脇でセンリョウを見つけましたが、確認できたのはこの一株だけでした。ヤブコウジは、高さ10cmぐらいで探すのが大変ですが、林床でひっそりと実をつけているのを確認できました。残るカラタチバナとアリドオシは見つけられませんでした。しかし、時間をかければ案外などところにあるかもしれません。(令和3.12竹下記)

### 田和山連絡会とは？

第182回田和山連絡会が、1月11日16時から(定例会は第1週の月曜日)開催されます。この会は市の埋蔵文化財課と和山サポートクラブと里山を育てる会三者の連絡会で、毎月1回田和山館で開催されます。内容は田和山遺跡関係の話が主ですが、会員ならだれでも参加できます。申込みは不要ですので里山会員も是非参加下さい。

### 今後の活動予定

- 1月15日(土) 13:00~仕事始め、同 16:00~研修会(乃白C) 同 17:00~新年賀会
- 11日(火) 16:00~田和山連絡会、21日(金) 13:30~、28日(金) 13:30~
- 2月 4日(金) 13:30~、11日(金) 13:30~、19日(土) 9:00~、25日(金) 13:30~

